

輸血部ニュース

広島大学病院 輸血部 発行:高田 昇

編集:藤井輝久

No.44 2002年12月25日 TEL: 082-257-5580,5582 内線:5580,5582

FAX: 082-257-5584

1月1日より輸血関連検査は24時間体制になります！

1月1日 8:30 より、輸血関連検査及び業務の一部が24時間体制となります。これにより、夜間や休日においても血液型判定や交差適合試験などの輸血関連検査(血液型判定及び交差適合試験)や血液センターへの製剤の注文なども、輸血部が行うこととなります。ですから現在のように、夜間・休日に臨床医自ら一人(または二人)で、輸血関連検査及び血液センターへの連

絡を行う必要はなくなります。

実際は中央検査部と輸血部の検査技師が合同で常時2名の日・当直を組み、緊急検査と輸血関連検査を行います。人数の関係上、日勤帯に行っている業務を全て行うことは困難です。そのため一部の業務(表1参照)は行いませんので、臨床医の方にご理解頂きますようお願いいたします。

表1：1月1日からの輸血関連検査及び業務の体制

24時間体制で輸血部が行うもの	夜間・休日は行わないもの(従来通り)
血液型検査 交差適合試験 血液センターへ製剤の注文 同種血製剤の納入・搬出 自己血製剤の搬出	FFPの解凍 自己血製剤の受け取り 未使用製剤の回収 緊急性のないウイルス検査 細胞表面抗原・HLAなどの特殊検査

12月8日に輸血部は移転しました！

輸血部は12月8日に、外来棟3階南ウイングに移転しました。移転に際しご理解とご協力頂きました関係各部署には大変お世話になりました。また大きなトラブルもなく移転を終了したことを報告させていただきます。

1月1日の新病棟オープンまで病棟からは一時的に遠くなり、ご不便をお掛けしますが、これからも何卒よろしくお願

います。

お問い合わせは
輸血部 内線 5582 または 6227



お知らせ:採血室の使用について

旧輸血部の採血室は、自己血採血や成分採血（主に末梢血幹細胞採取）にご利用頂きましたが、新しい採血室でも同様にご利用頂けます。

採血室の使用にあたっては、以下の事項を遵守頂きますようお願いいたします。

1) 採血室使用の予約

予約は、採血室入って右手のホワイトボードに事前に採血日時・科を記載して下さい。基本的に早い者勝ちです。これを行って頂くことにより、ダブルブッキングを防ぐことができます。電話でのご予約は受け付けていませんので、ご協力をお願いします。

2) 採血中の注意事項

採血室は、一部物品棚があり職員が出入りします。しかし採血中は、入室を制限するよう心掛けます。採血中は、『採血中』の札（マグネット付）をドアの表に出して頂くようお願いいたします。

また採血に際し補助が必要な場合は、事

前にお申し出下さい。時間が合えば輸血部医師がお手伝いいたします。

3) 採血室前のソファについて

採血室前にソファを設置しました。『採血予約時間より早く来てしまった』患者さん、あるいは付き添いでいらっしゃったご家族のための待合いとしてご利用下さい。

来年2月稼働予定の輸血製剤オーダーリングシステムでは、『自己血採血』の申し込みもオーダー端末で行うことになり、そのオーダー画面では、『採血場所』を選んで頂くようデザインしています。そうすると、前記1)のようなお手間を取らせることはなくなります。それまでの間、是非ご協力をお願いします。

なお、7月以降中断しています『輸血部医師による自己血採取』は、新年度（4月以降）に再開する予定です。こちらもご不便をお掛けしますが、何卒ご理解の程をお願いします。

お願い、輸血製剤の注文・搬出はなるべく日勤帯に！

輸血部は、1月1日より輸血製剤の入庫・搬出業務が24時間体制となります。しかし、医師自らが輸血関連検査を行うことなく24時間いつでも輸血製剤が入手可能になったため、簡単に時間外に輸血製剤を注文する弊害が起きることが予想されます。これは24時間体制を開始した多くの大学病院が頭を抱えている問題です（参考：別冊：医学のあゆみ、『輸血の現状と課題』より）。

輸血部職員が手薄な時間外の輸血オーダーは、なるべく緊急輸血に限ることを心掛けて頂きますようお願いいたします。

